

第６回
定時株主総会

株式会社レスター

証券コード　3156

Copyright Restar Corporation

議決権数報告



Copyright Restar Corporation

監査報告



Copyright Restar Corporation

報告事項



Copyright Restar Corporation

2024年4月1日～2025年3月31日

事業報告



Copyright Restar Corporation

項　目	ページ
当事業年度の事業	24~27
財　産・損　益	28~29
親会社・子会社	30
対処すべき課題	31

Copyright Restar Corporation

項　目	ページ
事業内容・事業所	32~33
使　用　人・借　入　先	34
会　社　の　現　況	35~45

Copyright Restar Corporation

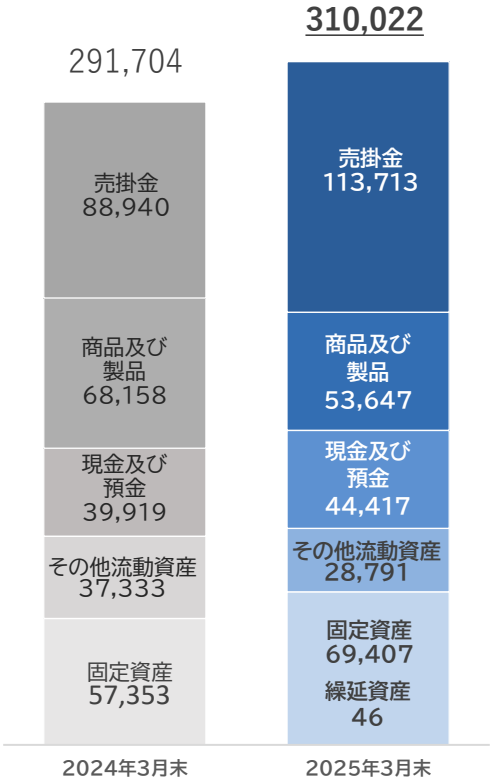
項　目	ページ
連結貸借対照表 連結損益計算書	46～47

Copyright Restar Corporation

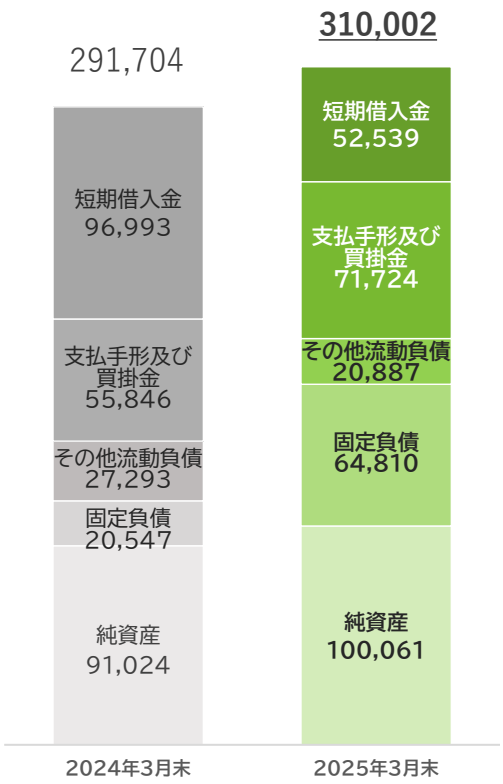
連結貸借対照表　ハイライト

（単位：百万円）

〈資産の部〉



〈負債・純資産の部〉



自己資本比率*1

24年3月期
28.9%

25年3月期
27.7%(29.3%)

*1()内の数字は、ハイブリッドローン（劣後特約付きローン）を加味した格付上の数値

Copyright Restar Corporation

連結損益計算書　ハイライト

（単位：百万円）	2024年3月期　通期		2025年3月期　通期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	512,484	–	561,001	–	48,517	9.5%
売上総利益	45,271	8.8%	47,700	8.5%	2,428	5.4%
販売管理費	29,340	5.7%	33,526	6.0%	4,185	14.3%
営業利益	15,931	3.1%	14,174	2.5%	△1,756	△11.0%
経常利益	9,690	1.9%	9,559	1.7%	△130	△1.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,004	1.4%	7,473	1.3%	468	6.7%

Copyright Restar Corporation

レスターグループの取り組み状況



Copyright Restar Corporation

1-1. 会社概要(グループ沿革)

国内外でのM&A・資本提携の実施に加え、グループシナジーの追求により、あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」になり、情報と技術で世界・社会の持続可能な発展を実現

ソニー
特約店

UKC
- システム機器
- EMS
- 液晶
- 電子機器

Vitec
- 環境エネルギー
- 植物工場
- 調達・電子機器
- 外資系半導体

■ 2019年4月～

レスターホールディングス

半導体・エレクトロニクスを軸にM&A・資本提携を推進

グループ化の例

PALTEK 2021
- 半導体商社

カードサービス 2022
- 海外製決済端末(システム機器)販売会社

AITジャパン 2023
- 台湾WPG傘下の半導体販売会社

都築電気グループ 子会社4社 2024
- 電子部品商社
- 半導体販売会社3社(上海・香港・シンガポール)

資本提携の例

PCIホールディングス 2018・2021
- 組込み系／情報系ソフトウェア開発・半導体開発サポート企業

※2024年9月グループ化

■ 2024年4月～

レスター

グループ事業再編

「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」へ加速



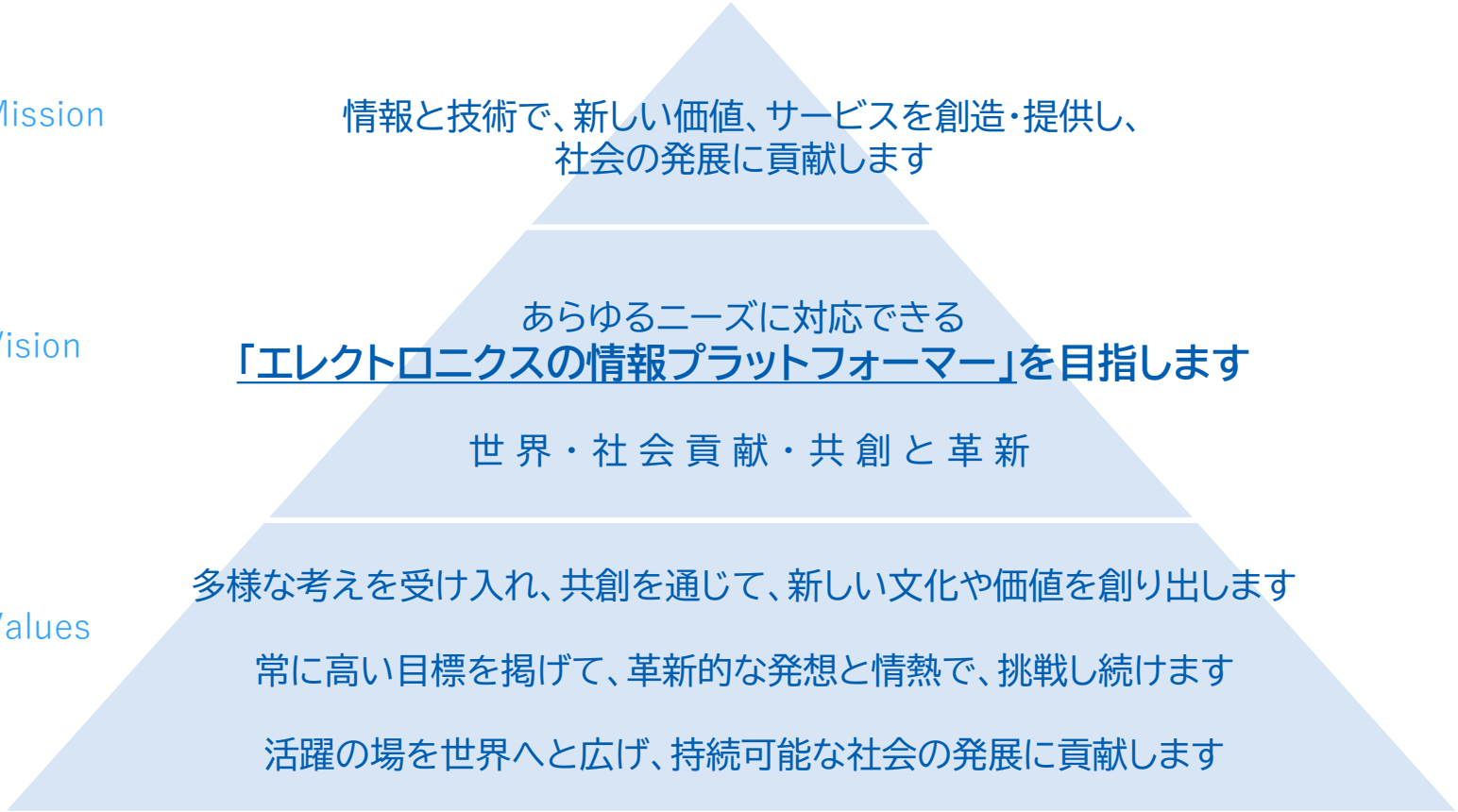
情報と技術で
世界・社会の
持続可能な発展
を実現



Copyright Restar Corporation

1-2. 会社概要(経営理念)

レスターグループ　経営理念



Copyright Restar Corporation

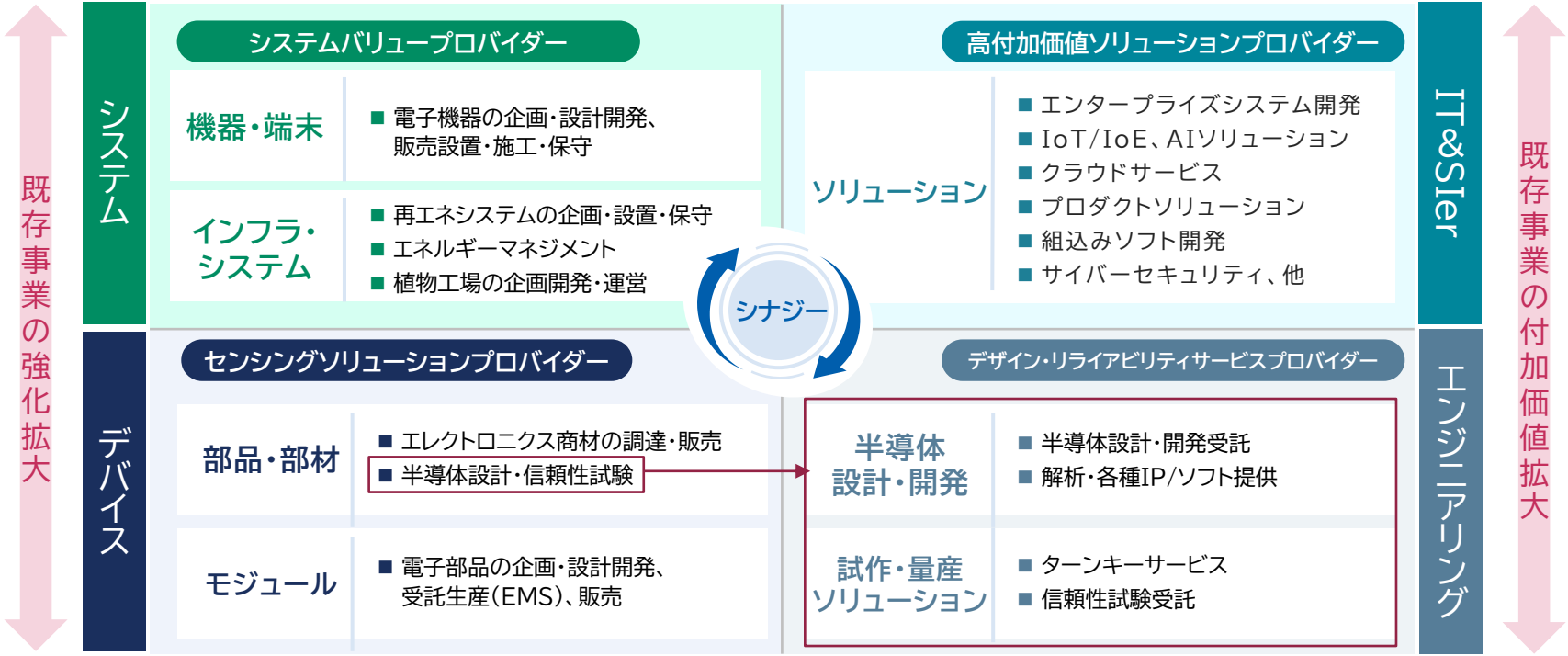
2－1．中期経営計画の基本方針

目指す姿	お客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する 1兆円規模の「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」

1	既存事業の成長	パートナーシップによるバリューチェーンの強靭化と収益力強化	・製造業/同業他社とのパートナーシップ強化による機能拡充と収益性向上 ・アカウントプランニング・効率的拡販
2	事業領域の拡大	“エンジニアリング”と“IT＆SIer”の事業化	・ハードとソフトの技術・開発力の獲得による既存事業とのシナジー創出・付加価値拡大
3	事業シナジーの追求	あらゆる商材・情報・技術を繋ぐプラットフォームの構築	・IT・DX推進による社内外インフラの革新 ・情報の一元化による機会最大化 ・取引先価値最大化への戦略構築と効率的な実行

Copyright Restar Corporation

2－2. 中期経営計画で目指す4事業

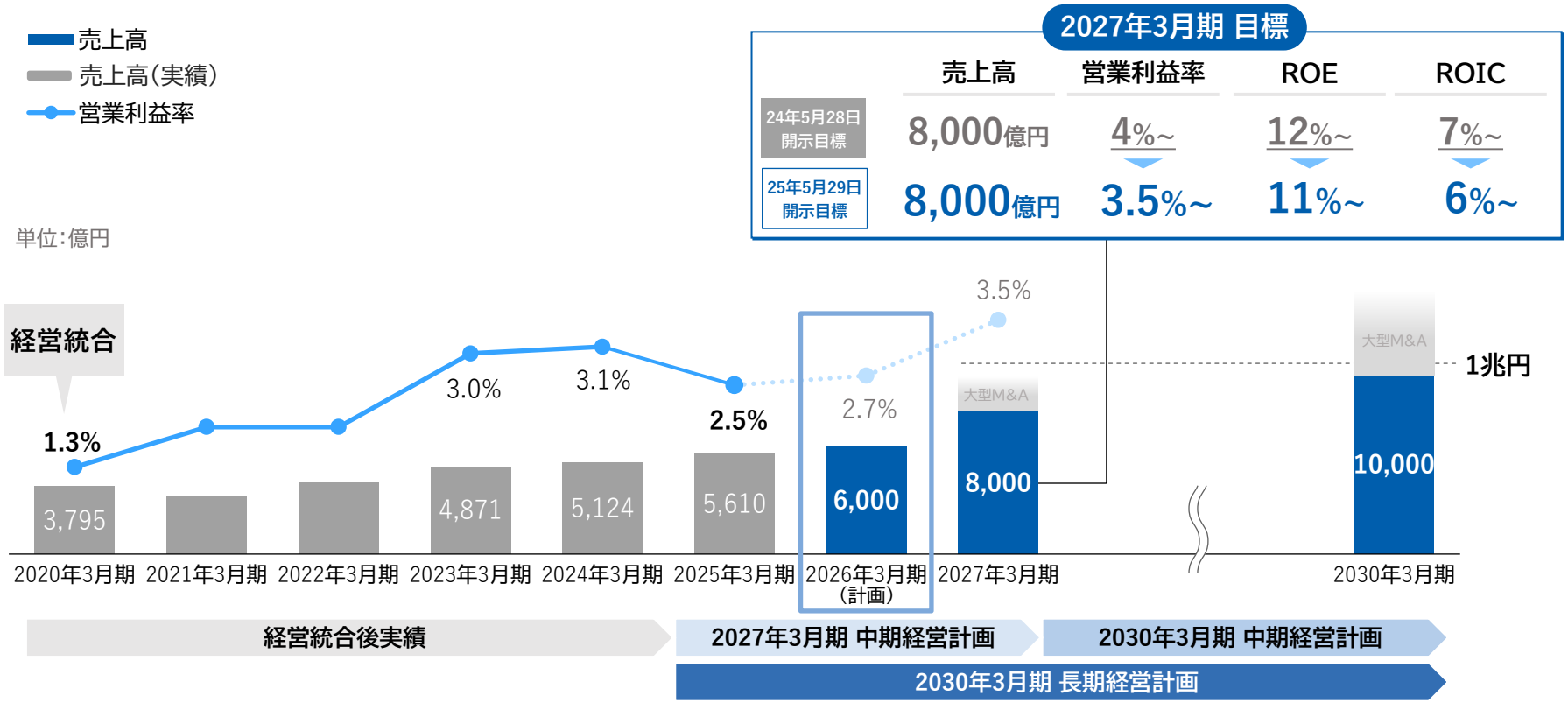


DX推進による情報プラットフォームの整備

基幹システム | データ連携基盤 | 分析基盤 | SFA（営業支援システム） | AI活用

Copyright Restar Corporation

2－3. 中期経営計画の目標



Copyright Restar Corporation

3. デバイスBU 進捗

01 デクセリアルズ㈱とのパートナーシップ形成

A) 戦略的パートナーシップの形成
B) 当社連結子会社としての販売オペレーション開始
C) 連携強化

Dexerials共創
FY25計画(売上高)
300億円超

02 WPGグループとの連携強化

A) 顧客基盤の活用
B) 他BUとの連携
C) マーケティング強化による事業創造

WPG共創
パートナー連携による
取り扱い商材の拡大
及び
規模拡大

03 新光商事㈱との業務提携による拡販

A) 業務資本提携を活かした共創協業
B) クロスセルによる既存事業の深耕

▼

半導体商社としての競争力の向上

クロスセルによる
FY25からの
業績寄与

Copyright Restar Corporation

4. システムBU　事業領域拡大

実績

① 企業のオフィス移転が活発化
- 移転ビジネスにて売上好調を維持
- 効率的な移転サービス等を提供を推進
- 顧客の成長と発展を支援

② ストック型ビジネスの立上げ
- 商業施設への“スタッフサイネージ”の導入

③ 戦略パートナーとの連携強化

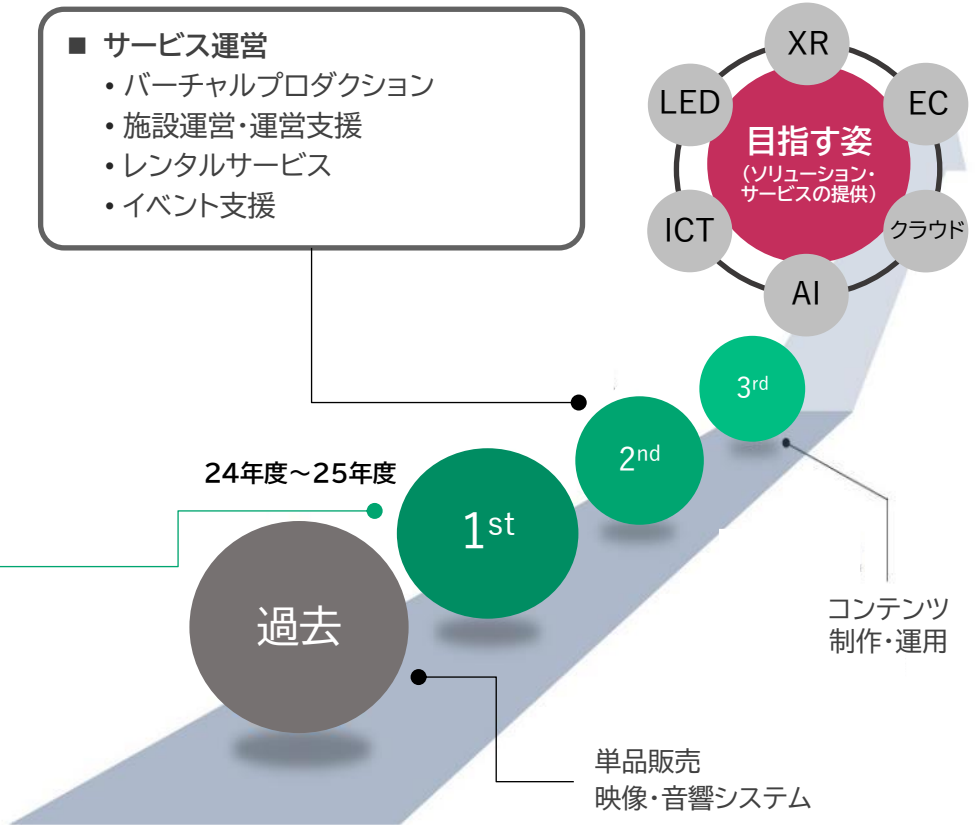
今後の取り組み

① 動画配信サービス事業者へのサービス提供の検討

② イベントにおけるレンタル事業の新規施策及び規模拡大

③ AVシステムを活用したデジタル広告ネットワーク事業への新たなサービス提供

■ サービス運営
- バーチャルプロダクション
- 施設運営・運営支援
- レンタルサービス
- イベント支援



Copyright Restar Corporation

5. システムBU エコソリューション事業の収益強化

実績

① **PPAの展開・加速**：グループシナジーを活かした顧客の脱炭素支援
➡再生可能エネルギー促進による環境負荷及びコスト削減

② **電力の小売における売上拡大**：調達リスク対策や電力市場の柔軟な活用

今後の取り組み

① **既存太陽光発電所におけるリパワリングの促進**

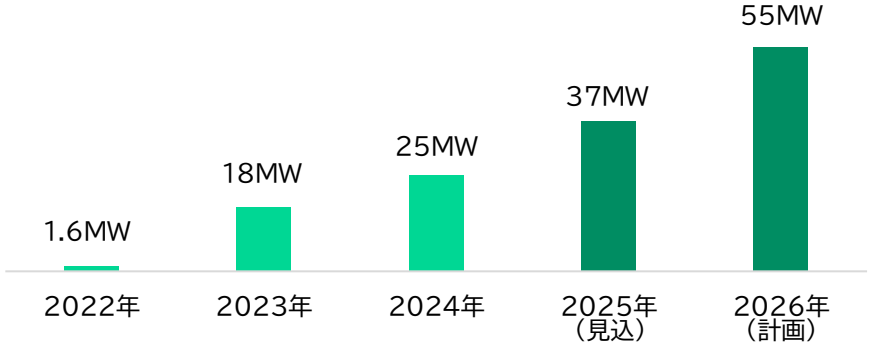
② **系統用蓄電所への投資**：需給調整市場における競争力強化

③ **オフサイトPPA事業の拡大**

④ **新たなPPAモデルの確立**：営農型太陽光発電所を活用した食とエネルギーの地産地消

⑤ **アグリゲータービジネスへの参入**

PPA事業計画



蓄電池を活用した事業モデル

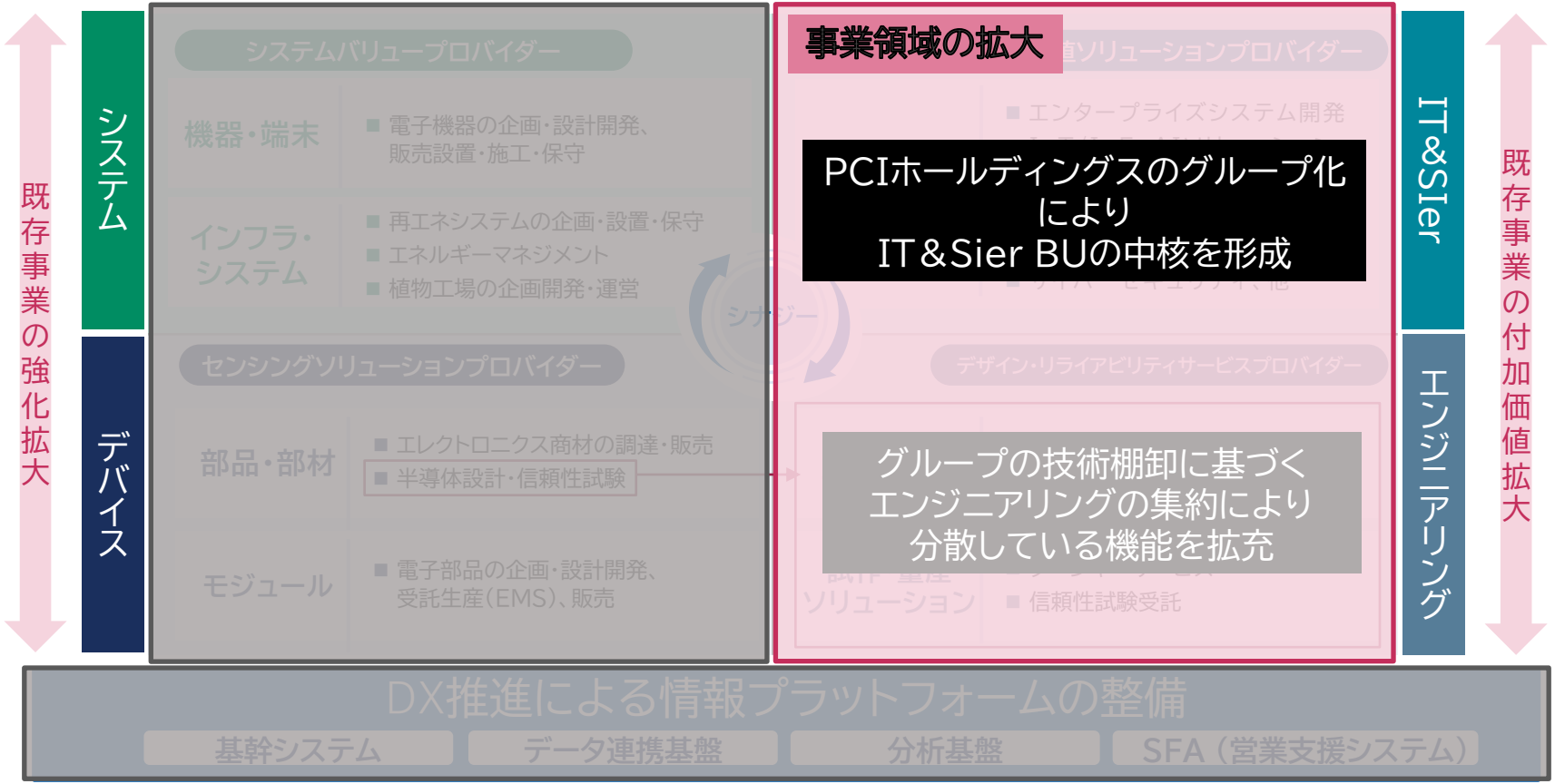


事業計画（時期、規模の確認）

1st	系統用蓄電所の設置
2nd	PPA＋蓄電池
3rd	需要家エネマネ
4th	地域マイクログリッド

Copyright Restar Corporation

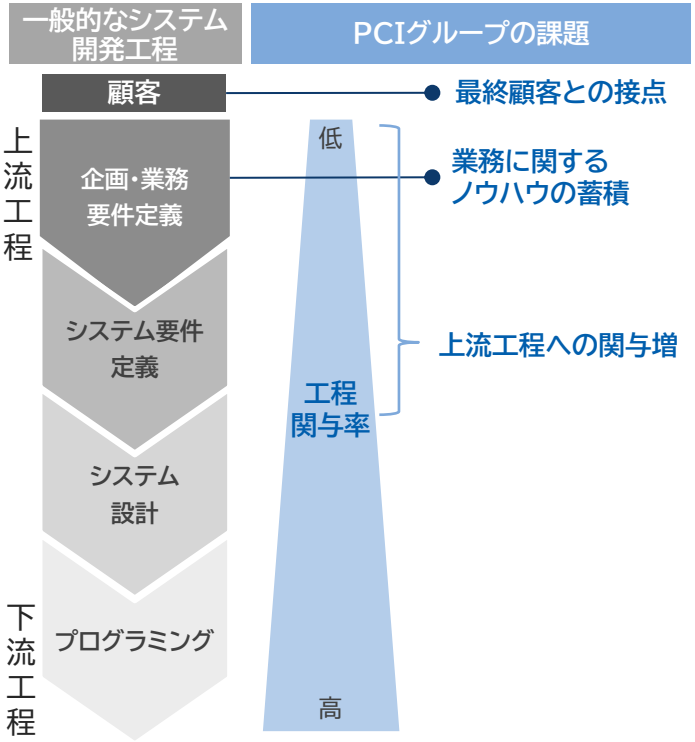
6. 事業領域の拡大：IT ＆ SIer BU・エンジニアリングBU



Copyright Restar Corporation

7. IT & SIer BU ソフトフェア開発力の活用

- レスターグループの**豊富な顧客基盤を活用**することにより、PCIグループの持つ**ソフトウェア開発力をより上流工程へと展開・強化**



資本業務提携によるシナジー効果

① **レスターグループの顧客基盤の活用**
- レスターグループの持つ優良な顧客基盤への直接的なコネクションの活用

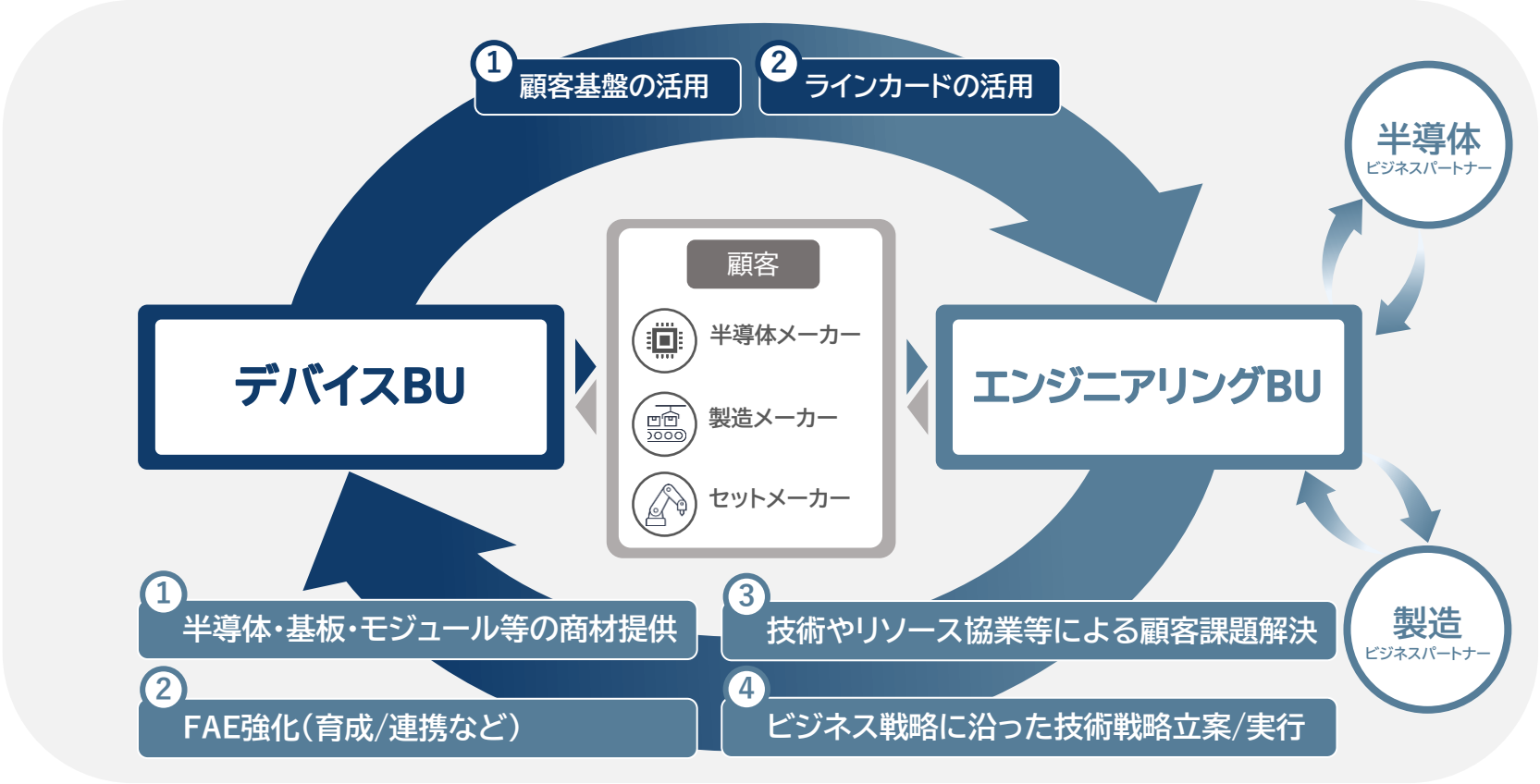
② **技術リソースと領域の強化**
- グループ力を生かした人材獲得とグループ内の技術リソースの有効活用による技術領域の拡大

③ **企画提案力強化による上流プロセスへの展開**
- 上記①, ②の実現により、
  a. ソリューション提案力の向上
  b. 顧客への直接的なビジネス機会増加による企画提案等の上流プロセスへの展開加速

Copyright Restar Corporation

8. エンジニアリングBU　目指す姿の概要

- 高付加価値な受託事業で持続的に顧客に貢献するとともにデバイスBUを支えるグローバルなエンジニア集団となる



Copyright Restar Corporation

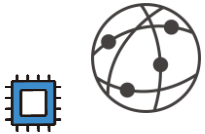
9. FPT Semiconductor社と連携

- FPT Semiconductor社(以下「FPT」)と半導体販売や共同研究・設計開発等、半導体関連分野において更なる協力関係を推進することを目的とし、2025年4月28日に開催された日越首脳会談において基本合意書を締結
- 今後、確立を目指すエンジニアリングBUとの連携を図る

デバイスBU

01

半導体チップの販売



販売目標:1,000万個
(FY25-FY27)

エンジニアリングBU

02

半導体の共同研究・設計開発



03

半導体のテスト、OSAT*事業



*OSAT:後工程サービス

04

オフショア開発の推進



デバイスBUとの連携

当社顧客基盤を
活かした拡販

エンジニアリングBU確立に向けて

1. PCIホールディングス株式会社の子会社で、電子回路・制御ソフトウェア開発や半導体テスト関連サービス行う株式会社プリバテックと連携、半導体の共同研究、設計開発を強化
2. 当社の半導体信頼性評価センター(熊本拠点)やFPTとの協力による信頼性試験などの半導体テストの強化

Copyright Restar Corporation

10. 株主還元方針及び配当予想

株主還元方針

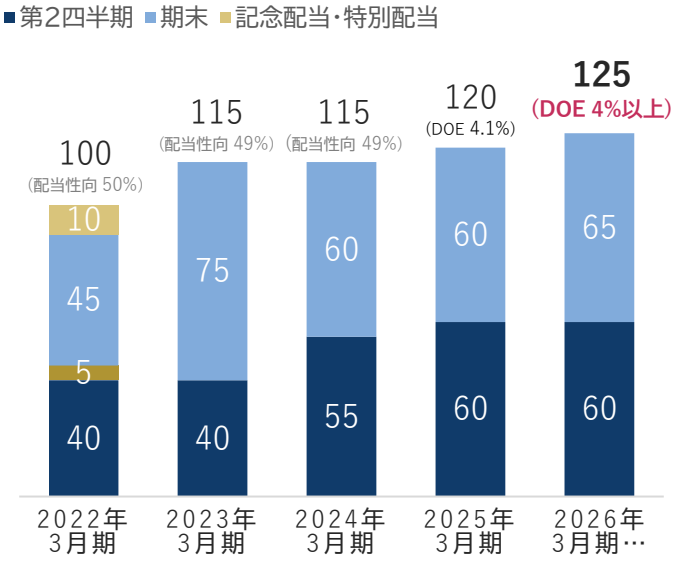
■ 2027年3月期を最終年度とする中期経営計画の期間の基本方針

- 安定的な株主還元の充実、成長領域への積極的な投資と財務健全性のバランスを考慮
- 連結株主資本配当率(DOE*)4%以上
- 安定的且つ継続的に増配の実施
- 余剰資金については機動的な自社株買い

*DOE(Dividend on Equity):株主資本配当率 = 配当額÷株主資本 = 配当利回×PBR
株主資本をベースとするため、配当性向に比べて、利益のブレに対する影響が少なく、安定的な配当となります。
当社は、株主の皆様に安心して長期保有いただけるよう、DOEを重要な指標として捉えて、株主還元を行ってまいります。

1株当たり配当金

(単位:円)



2025年3月期 配当

第2四半期末	期末	合計
60 円	60 円	120 円

2026年3月期 配当予想

第2四半期末	期末	合計
60 円	65 円	125 円

Copyright 2024 Restar Corporation

ご挨拶

本日は本総会へご出席賜り、

誠にありがとうございました。

Copyright Restar Corporation